

COLLEGE INFORMATION

# 甲子園短大通信

甲子園短期大学 発行



## 平成二十八年度 入学式

平成二十八年度入学式は四月五日、甲子園学院理事長・学院長久米知子先生はじめ、ご来賓の方々のご臨席のもと、学院高校講堂において執り行われました。

瀧上凱令学長から以下のような式辞がありました。

「皆さんが入学された甲子園短期大学は、昭和三十九年四月に、前学院長久米利男先生により創立されました。前学院長先生は、その

後五十一年間にわたり、短期大学の発展に尽くしてこられました。残念ながら、昨年十二月にお亡くなりになりました。今後は、残された教職員が一丸となって、甲子園短期大学の充実・発展に尽くしてまいりたいと思っております。

甲子園学院の建学の精神は、『勉努力』『和衷協同』『至誠一貫』の三つで、これを『校訓三綱領』といいます。

これら三つの訓えは、学院を創立された校祖久米長八先生が、人間の生き方として最も大切なものとお考えになられたものです。

この訓えは、人間性の基本として、非常に大切なものです。皆さん方はこれから、何度も何度も、この校訓を聞くことになるでしょうが、ぜひしっかりと身に付けていただきたいと思っております。本年度は社会人の方がたくさんご入学されました。『今更そんなことを言われなくても、これまでちゃんと生きてきたのだから。』と思われるかもしれませんが、もう一度自分を振り返る機会にしたいだけだと思います。

専門的な知識と技能を身に付けること、皆さんはそれを目標に入学されたので、しっかりと身に付けていただきたいと思っております。しかしながら、世の中の変化は急激です。身に付けた知識や技能はすぐに古くなってしまいます。知識や技能を身に付けるだけでなく、知識や技能の『身に付け方』を学んでいただき、社会の変化に対応できるようにしていただきたいと思っております。

もう一つ身に付けていただきたいのは、幅広い教養です。物事について考えるための知識と考え方です。そして、専門的知識や技能と同じく、教養を身に付けるための『学び方』も身に付けてください。

勉学に当たっては、受け身で教えられるのではなく、『勉努力』の訓えのとおり、自発的、積極的に取り組んでください。

二年間はあっという間に過ぎてしまいます。本学での二年間が、意義深く、素晴らしいものになりますように心から願っております。

これを受け、新入生を代表して坂上明日香さん（生活環境学科）のお礼の言葉と『校訓三綱領』である勉努力・和衷協同・至誠一貫の教養の訓えと、人格形成に努めることを誓います。』との宣誓があり、厳粛な中にも和やかに入学式を終えました。

### 附属図書館公開講座

来たる八月二十七日（土）附属図書館公開講座が開催されます。

講演統一テーマは『皇位継承と貴族・武士』で、今年是我が国の歴史に深く関わる皇位継承問題をテーマにすえ、大化前代から武士勃興期までを四人の講師がリレー形式で講演します。

今年で三回目を迎える公開講座はリピーターも多く、聴講者は西宮市および近隣地域在住の一般市民、大学院で日本史を学んでいる院生、近隣の日本史担当高校教諭な

多岐にわたっています。昨年は質疑応答が予定時間を超過するほど盛り上がり、アンケートに寄せられた感想からも満足していただけた様子が伺えました。今回も最後に質疑応答の時間を設けています。

対象は高校生以上、聴講料は無料です。

事前に本学図書館（TEL〇七九八―六五―三三〇〇）へのご連絡が必要です。駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用になるか、近隣のコインパーキングをご利用ください。

◆日時  
八月二十七日（土）  
九時三十分～十二時十分

◆場所  
本学三二二講義室（三階）

◆講演統一テーマ  
『皇位継承と貴族・武士』

第一講 継体天皇と伴信村大連  
龍谷大学教授 平林章仁

第二講 「孝謙女帝と藤原仲麻呂」  
本学特任教授 木本好信

第三講 「一条天皇と藤原道長」  
京都大学大学院教授 上島亨

第四講 「後白河天皇と平清盛」  
古代学協会研究員 古藤真平

※聴講のご予約・お問い合わせは、本学図書館までご連絡下さい。

### 花と一緒に、ゆつたりゆらゆら



特任准教授 畑 啓子

趣味は何ですかと聞かれると、私はすぐには答えられず、しばらく絶句してしまっています。それは「特にありません」と返答していましたが、でも、短大通信の原稿依頼をいただいたて、辞書で「趣味」の意味を調べると、「専門家としてではなく、楽しみとする事項」とありました。気を取り直して自分の生活を見直してみると、今まで趣味とは思っていませんでした。生活の中に溶け込んでいる事が一つありました。それは、草花の世話をすることです。草花の世話をしている時は、時間も腰の痛さも忘れて草花の世話に没頭しています。太陽の光の中で、風にそよぐ草花や花に来る蜂や蝶を見ながら、ゆつたりゆらゆらとしている、そんな時の自分が気持ちよく一番好きです。

## My Favorites



四季折々の草花が咲く庭

草花の世話をしていると多忙な日々の中で、忘れていたりや気付いていないことに改めて考えさせられることが多くあります。私をほっとさせてくれる四季折々の草花の庭を作りながら、ゆつたりゆらゆらと過ごせる趣味をこれからも楽しんでいきたいと思っております。

行き、そこでも「大丈夫かな」とか「頑張つて。」などと話しかけています。

「みんな生きてるよ、花も命があるからね、子どもと一緒に」と、手で花を撫でながら笑顔で話されました。いつも子どもにも花にも愛おしい気持ちを持ちながら接しておられる姿に、幼児教育の大切な心にもなっていたように思いました。

すぐに職員にもこの出来事を話し、職員みんなが子どもたちのために、いろいろな面から幼児教育に携わっていることが大切であることを話したことを思い出します。それからずっと私と花とのかわりのかかりは続いており、花に話しかけるのが当たり前のこととなり、楽しいひと時となつていきます。

大雨や大風の時には傘をさして見に行き、そこでも「大丈夫かな」とか「頑張つて。」などと話しかけています。

### 高校生エッセーコンクールの募集

昨年度から始めました「高校生エッセーコンクール」への作品を本年度も募集しています。

高校生の皆さんは将来への夢と希望、そして期待が広がる反面、不安も多いかと思えます。高校や家庭生活のさまざまな場面で自分を振り返り、また周りの人と比較し、自分の将来と夢について考えることは、新たな自己実現とその方法の発見にもつながることになります。

この高校生エッセーコンクールへの応募が、人生の岐路にある高校生の皆さんの自分理解と夢、そして新たな将来像の発見の機会となることを願っています。たくさんの方の気付きを応援しています。

（募集要項）

- テーマ：『私の夢の実現に向けて』
- 応募資格：高等学校生
- 募集エッセー内容：応募エッセー作品は未発表でオリジナルな内容に限ります。文体は自由ですが、四〇〇～六〇〇字以内にとめてください。
- 募集期間：平成二十八年度九月十四日（当日必着）まで。
- 応募先：甲子園短期大学

（賞）

- 優秀賞（二点）  
表彰状および副賞として一万円相当の図書カード
- 奨励賞（若干）  
表彰状および副賞として五千円相当の図書カード

尚、各賞の受賞数は応募数等により変わる場合があります。

● 審査員：甲子園短期大学長、同学長

### 平成二十八年度 後援会総会開催

短大後援会総会が、六月五日に短大二階多目的演習室で開催され、出席会員は八名、委任状提出者は八十四名でした。短大側から瀧上学長、田中学生会長、増田後援会担当特任准教授等が出席しました。

総会では、後援会会計の決算・予算が承認され、役員改選では、武内昭二会長、西山正夫会計監査が再任され、藪野郁也副会長、中村英紀書記、丸山晴弘会計、宮本哲也会計監査が新たに選任されました。その後、短大側から本年度の行事予定を短大のディプロマポリシーを絡めて説明があり、続いて子女が自立する最初の機会である就職について学生・教職員・保護者が連携して就職活動に取り組む重要性と就職の現状について説明がありました。

今年度は学院高校二年生の板橋美波さんが高飛び込みでリオデジャネイロオリンピック出場が決まったため激励金の協力依頼も行い、約一時間で閉会しました。総会の前後には出席保護者と担任との個別懇談の場が持たれました。

甲子園短大通信 第81号  
（編集・発行）甲子園短期大学広報委員会  
〒663-8107 西宮市林町四一五  
TEL:079-865-3300 FAX:079-865-7901  
http://www.koshien-c.ac.jp



※平成29年度 甲子園短期大学入試日程※

【AO入試】エントリー受付中

区分	エントリーシート提出締切日	入試相談日	区分	エントリーシート提出締切日	入試相談日
AO6期	8月2日(火)	8月7日(日)	AO9期	11月1日(火)	11月6日(日)
AO7期	8月23日(火)	8月27日(土)	AO10期	12月9日(金)	12月15日(木)
AO8期	9月13日(火)	9月17日(土)	AO11期	平成29年2月28日(火)	3月4日(土)

区分	出願期間	窓口出願日	選考日
指定校推薦	9月20日(火)～10月6日(木)	10月7日(金)	10月12日(木)
推薦1期	10月7日(金)～10月20日(木)	10月21日(金)	10月27日(木)
推薦2期	11月4日(金)～11月17日(木)	11月18日(金)	11月22日(木)
推薦3期	11月25日(金)～12月8日(木)	12月9日(金)	12月15日(木)
推薦4期	平成29年1月5日(木)～1月12日(木)	1月13日(金)	1月17日(火)
一般	1月26日(木)～2月8日(木)	2月9日(木)	2月16日(木)

平成二十九年年度の学生募集は、AO入試、推薦選考、専門学科・総合学科推薦、一般選考、指定校推薦、社会人選考の各方式で行われます。なお、専門学科・総合学科推薦は、今回より新規導入します。現在、AO入試のエントリー受付が開始されています。エントリーシートと課題を提出後は、オープンキャンパス等で入試相談を行い、出願の可否が決定されます。

推薦選考・一般選考では、「筆記検査方式」「自己推薦方式」「資格方式」に加え、今回より幼児教育保育学科で「音楽実技方式」を取り入れます。

指定校推薦では、「一般型」の他、AO入試と同じ「特別活動型」があります。また、指定校の専願者に対する特典があります。

詳しくは、平成二十九年年度学生募集要項、AO入試ガイドをご覧ください。入試部に直接お問い合わせください。

※平成二十九年年度学生募集について

平成二十八年年度オープンキャンパス

短大でのオープンキャンパスは、各学科・フィールドの学習内容が体験できるイベントを今年度も行っています。五月から七月にかけては、たくさんのお客様を実施しました。

講義「こころと脳」は、熊本の大地震の話や交感神経の興味深い内容で、心理学に興味を持つ高校生と共に保護者の方も熱心に聞き入っていました。

「離乳食の試食体験」では、離乳食特有の食感や味に戸惑いながらも、離乳食の大切さや乳児の発達について学びました。離乳食作りが大変だという声が多いですが、大人のおかずの中から簡単に作ることができ、ぜひ手作りしてほしいとのメッセージが教員からありました。

「赤ちゃんの心について」では、赤ちゃんはどのような心で私たちの世界に仲間入りするのかを知るために、保育に関する映像を鑑賞し、実際に赤ちゃん人形に触れながら発達支援を体験しました。

「多肉植物の寄せ植え」では、素焼きのポットに模様を描き、様々な多肉植物の中からお気に入りのものを選び、植え



赤ちゃんの心について



在学生との談話

つけて持ち帰りました。そのほか、「キッズイングリッシュ」「お誕生日会ワークショップ」などのイベントも行いました。

在学生や卒業生がスタッフとして学内を案内したり、本学の学習内容を伝えたりしています。高校生や保護者の方から「好きな科目は何ですか?」「アルバイトはしていますか?」「実習はどのようなことをしますか?」などの質問が多くあり、在学生が丁寧に答えていました。また卒業生には、本学で学んで役立ったことや就職先の様子も聞いています。

近隣の他、淡路島や京都、徳島などからも多くの高校生の参加があり好評でした。今後も十一月までさまざまなイベントを計画しています。

高大連携講座

本学では、地域貢献活動の一環として、高大連携講座を実施しています。

高校生が大学の授業を体験し、大学の学びや専門分野に興味を持ち、進路選択の参考にすることを目的としています。

今年度は、大阪府立高等学校と兵庫県立高等学校数校より依頼を受け、教員が授業に出向いています。

主に高等学校の教育系や福祉系コースに在籍している高校生を対象に、保育や介護に関する専門的な話と体験型授業を展開しています。コミュニケーションゲームや音楽劇、造形活動など体験内容は様々ですが、高校生は楽しみながら学びに繋がっています。大学の授業が座学だけでなく、実際に身体を動かしながら体験できると好評です。

甲子園学院高等学校対象の連携講座も全学年を対象に始まっています。短期大学の施設を使用して専門的な授業を受け、大学の授業に少しづつ慣れていき、将来の進路決定に役立つ充実した講座となっています。特に幼児教育コースの生徒は、将来保育者になるために必要な準備として、保育の仕事内容を学んだりピアノ実技レッスンを受けたり、さらには幼稚園へ見学に行ったりしています。

これからも、様々な高校からの講座の依頼を積極的に受け、高大連携講座を充実させていきたいと考えています。



コミュニケーションゲームの様子

充実した学習内容

生活環境学科 生活環境専攻 多様な生活環境に 対応したカリキュラム



園芸の授業の様子

生活環境専攻では、女性が一生で向き合う多様な生活環境に深く対応した独自のカリキュラムを展開しています。フードコーディネーターや医療管理秘書士等に関連する資格を中心に、「食と健康」「医療事務」「サービスピジネス」「園芸療法」の中から自由に科目が選択できます。関連ある授業内容の場合、コラボレーションをして共同演習を行います。また、園芸実習場で育てた新鮮な食材を収穫して、食品加工やクッキングの実習で使用しています。自分たちで育てた野菜を使って調理することによって、食材に対する知識や安全性、季節感などを習得することができます。テーブルコーディネートやプロの先生による実技指導、中国料理や西洋料理のシェフによる料理指導やパティリーの企画実施の実習を行っています。

さらに、「食」「衣」「住」「家庭経営」の知識をより多面的に修得するために、宿泊を伴う生活実習を行います。短期大学の隣にある生活実習ハウスに宿泊して、生

活環境専攻で学んだ知識と技術を総合的に体験学習します。たとえば、晩ごはんの献立はグループで考えて買い物に行き調理します。朝は朝食とともにお弁当も作り、短大へ持って行きます。

このように本学では特徴を活かして多様な生活環境に対応できる女性の育成を目指しています。

生活環境学科 介護福祉専攻 「先生の健康を守り隊」の活動



先生の健康を守り隊

介護福祉士の養成が始まり二十七年が経過しましたが、高齢者介護や障害者福祉を取り巻く状況は刻々と変化しています。介護ニーズは、より多様化・高度化し、介護福祉士は介護の中核的な存在としての位置づけが明確になってきました。本学では、それに応えるべく、アクティブラーニングによる能動的な学習を試みています。そのひとつが「先生の健康を守り隊」の活動です。学生が、オフィスアワーの時間を活用して教員の研究室を訪問し、体温や血圧・脈拍などのバイタルサインを測定しています。これは、介護過程の授業としてI回生の後期、II回生の前期の計七回にわたる実践です。その目的は、バイタルサインをスムーズに測定し、多忙な教員の健康を気遣うことにあります。しかし、本来の目的は①年長者とのコミュニケーションを円滑に図る②自分の五感を用いた観察ができる③記録の必要性を理解するといった介護現場で必要とされる社会性や実践力を培うところにあります。近年、顔の見えないコミュニケーションツールに頼っている学生にとって、教員の研究室を訪問す

る際の挨拶や通常の会話、今から行うことへの説明と同意を得る手続きなど、大変緊張することが多いようです。また測定値を記載する記録用紙は、各自が紙面の使い方や見やすさを考えエクセルで作成しています。測定の技術、血圧などバイタルサインの数値に影響を与える因子の理解、コミュニケーションの技術、パソコンの操作など「先生の健康を守り隊」の活動は、「人間と社会」「介護」の各領域の理論と実践の総合的な学習です。

学生は、活動が終了する頃には、当初の緊張が達成感に変わった様子が見られます。測定の練習を兼ねて普段交流の少ない先生とも話をすることができ、とても良い経験になりました」との感想もありました。今後も、「先生の健康を守り隊」に留まらず、アクティブラーニングの工夫を重ねて、学習を進めていきます。

幼児教育保育学科 マルチスペースでの学び

幼児教育保育学科では、幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の二つの国家資格取得を目指して、学生たちは日々学んでいます。

新設されたマルチスペースは、広い空間で体を動かす授業に使用しており、I



パラバレーン

I回生は、夏休みに初めての保育実習があります。保育の一日の流れを学ぶことから保育日誌や指導案の書き方、全てが初めてのことはあります。期待と不安が交錯しながらも、勉学に励んでいます。

II回生は、五月二十三日から三週間幼稚園での教育実習に行きました。事前に、教育実習指導の授業内で活動内容を考え、指導案を作成し、保育者として模擬保育を経験しました。実習が梅雨の期間中であり、六月十日は時の記念日であることから、カエルやあじさいといった季節の動植物や時計を題材にした製作活動やリズム遊びなど内容はさまざまでした。その様子をI回生も見学し、事前準備や活動への配慮を知り、多くの学びがあったようでした。この模擬保育や、音楽やレクリエーションに関する特別授業などでも、マルチスペースを活用しています。

本学での二年間にさまざまな体験を通して学び、保育者として社会で活躍してくれることを願っています。